

黒いということは、それだけ練習していることである。まっ黒けは皆、わが校の子どもであった。

「人に勝つより自分の記録に勝て」ともおっしゃっている。

頭をならべて泳いで来ても、ゴール前三メートルになると必ずわが校の子どもが出てくる。最後のがんばりがきくのである。

大会には、父も母も妹も弟も応援にいく。父が中学生の時、角力の大会に両親の顔がみえると、とても嬉しかった、というのであるべく家中で行く。

大雨がザアザア降っても、試合は水の中だから休むことなく、応援はずぶぬれである。寒い方が記録が出しやすいといつて、T雄は自分の記録をのぼした。

「T雄はどっちかというと気の弱い方だから」というと、他の父兄の方々が、「弱くないですよ。大きな大会のたびに記録がのぼせるというのは、気が弱くてはできませんよ」といつてくださり、親バカ丸だしで、「そうでしょうか」とニヤニヤしてしま

う。

わが校は成績がよく賞状が五十枚をこえた。雨にぬれないように大きなビニールの袋を用意して、賞状をていねいに持っていただくるのは郵便局長さんである。

四十四年三月一日、日本水泳連盟から、全国小学校のなかの水泳優秀校としてわが校は表彰された。

この水泳で得たものは、常識的に根性というのであろうか。

母は根性というより、どんなに苦しくても、I先生を信頼してついで行く素直な心がきびしい練習にたえさせたと思っている。

これは水泳部の全部の子どもに見られるもので、小学生らしい美しさだ。

T雄自身は、

「いっしょうけんめい練習さえておけば、いざという時あがらずに、練習の時以上の力が出せる」ということが実感として身についたといっている。

(つづく)

幼児の教育 第六十八巻 第六号

六月号 © 定価八〇円

昭和四十四年 五月二十五日印刷
昭和四十四年 六月 一 日発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一一
印刷所 凸版印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一
発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番
© 本誌御購読についての御注文は発売所
所 フレーベル館にお願いいたします